

躍進する稲城の会

稲城市長 高橋かつひろ
市政報告
 令和元年(2019年)9月

フォトニュース

昨年末から今年の春まで、市政にまつわる各種行事について写真でご紹介します。



11月16日 小島前教育長・加藤新教育長を招いて、新旧教育長の歓送迎会



11月17日 早稲田大学台湾校友会を訪問(全国市長会前会長の松浦氏ほか稲門市長会の有志と)



11月25日 青少年育成地区委員会合同研修会にて当日講師のピーター・フランクル氏と



11月25日 プロバスケットチーム「東京サンレーヴス」ホームゲーム(総合体育館)



12月2日 第55回ゴルフ日本シリーズJTカップ優勝者の小平智選手に、副賞「稲城の梨」を贈呈



12月9日 ラグビークラブチームリーグ戦「NZ大使杯・稲城市長杯」(総合グラウンド)



12月18日 東京ヴェルディのホームタウン市長として招待を受けたJリーグアワード(横浜アリーナ)



1月13日 市役所第一駐車場にて初開催の消防出初式



1月23日 環境省が提唱する「プラスチック・スマート」フォーラムの発足に参加



2月10日 日大ラグビー部創立90周年記念式典に出席(東京プリンスホテル)



2月11日 自転車レース「稲城クロス」(多摩川北緑地公園河川敷、司会は安田大サーカスの団長)



2月20日 東京ヴェルディ ホームタウン推進懇談会



2月24日 まちきれ実践活動(平尾近隣公園)



3月15日 読売ランド線トンネル貫通式典



4月14日 統一地方選挙 稲城市長選挙・稲城市議会議員選挙の合同出陣式



5月4日 ラグビーワールドカップ機運醸成・子ども体験イベント(総合グラウンド)



5月6日 防犯駅伝バトロール・若葉駅前交番からゴミ拾いを兼ねてスタート



5月15日 日テレベレーザ選手 ワールドカップ日本代表壮行会(中央文化センターホール)

市長3期目のスタートにあたって



このたび4月執行の市長選挙を経て、3期目の任期を迎えました。私は平成23年の就任以来、「緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城」を将来都市像としたまちづくりの実現に向けて全力で取り組んでまいりました。この将来都市像は、昭和50年に策定された第1次の「稲城市長期総合計画」において掲げられ、現在の第4次計画に至るまで、実に40年以上にわたって変わらぬ理念として継承されています。先輩諸兄から連綿と受け継がれてきた大切な価値観を、今後とも引き継いでいきたいと思っております。

本市は、周辺都市に比べて開発が遅れたため、現在も大規模な都市基盤整備が進行中ですが、後発であるからこそ、良い伝統や環境を残しつつ、新たな時代に適応したまちづくりを進められるというメリットも享受できます。

市民参加による防災・防犯の推進と安全安心のまちづくり、低炭素社会の実現・生物多様性の確保など新たな環境課題を踏まえた地域循環共生圏の創設、住み慣れた地域で生涯住み続けるための地域包括ケアシステムの構築、市民ニーズに応じた医療提供、子どもの発達に関する課題解決、すべての児童生徒に安全で美味しい学校給食の提供、保育所・学童クラブの待機児童解消、小中学校の学力向上、農業・商工業・観光事業の発展など、これまで2期8年の成果を踏まえ、稲城市をさらに進化・深化させてまいります。

豊かな自然環境を有し、安全安心で住みやすい街であるとの評価を維持し、定住型で世代交代のできる持続可能なまちづくりを進めるため、「SDGs(持続可能な開発目標)」を実践し、わがまちを誇りに思い主体的に関与して良くしていこうとする市民の自負心である「シビックプライド」の醸成を目指して頑張ります。

改選後の新市議会がスタート

4月執行の市議会議員選挙で新たな議員が選出されました。5月15日には改選後初の市議会臨時会が開催され、市議会議長に渡辺力氏、副議長にのじ寛美氏が選任されました。どうぞよろしくお願いいたします。



発行 躍進する稲城の会 ホームページ: katchan-inagi.com
 発行責任者 原田富雄 E-mail: yakushin@katchan-inagi.com
 事務所 稲城市矢野口2356 Facebook: www.facebook.com/katsushiro.takahashi.3
 電話: 042-378-3820
 FAX: 042-379-8088 twitter: http://twitter.com/inagiKatchan

平成31年度予算 の主な内容

平成31年第1回市議会定例会において可決・成立した当初予算の内容を、第4次長期総合計画「基本計画」の「施策の大綱」の6項目に沿って、概要をご報告します。

1 だれもが健康で安心してともに暮らせるまちづくり

- ① 待機児童対策（小田良土地区画整理事業地内の東京都所有地 2,630m² を保育所用地として借用、定員 150 人規模の認可保育園を令和 3 年 4 月に開園予定）
- ② 地域包括支援システムの構築（認知症カフェの開催・年間 20 回程度実施予定）
- ③ 市立病院の器械・備品整備（一般撮影 FPD システム・生体情報モニタほか）
 - 待機児童対策〔認可保育所・認定こども園の受入児童数の拡充（192 人）、現行制度幼稚園の認定こども園移行（保育定員 30 人）〕
 - 幼児教育無償化関連（3～5 歳の全員と住民税非課税世帯の 0～2 歳を対象、対象施設：認可保育所・認定こども園・家庭的保育事業・認可外保育施設・幼稚園の預かり保育・現行制度幼稚園・就学前の児童発達支援及び医療型児童発達支援サービスなど）
 - 第六保育園の耐震改修事業（都施工経費の負担金）
 - 新生児聴覚検査費用の助成（平成 31 年 4 月 1 日以降出生した新生児全員を対象）
 - 若葉台小学校学童クラブの民営化（令和 2 年 4 月～）
 - 稲城市介護保険事業計画（第 8 期）の策定（平成 31 年度～令和 2 年度の 2 カ年）
 - 介護人材・生活援助従事者育成研修〔国が定めた 59 時間（10 日間）の講義+実習コースの履修による介護人材不足の解消〕
 - 認知症高齢者グループホームの整備（平尾・坂浜地区に令和 3 年 2 月に開設予定）



2 人と文化を育むふれあいのあるまちづくり

- ④ 稲城村制施行 130 周年記念事業〔明治 22 年に矢野口村・東長沼村・大丸村・百村・坂浜村・平尾村の六か村合併により稲城村誕生（人口 3,750 人）〕
- ⑤ 学校給食共同調理場第一調理場建替移転事業（南山東部土地地区画整理事業地区内へ移転、平成 31 年度は建築工事、令和 2 年 9 月稼働予定）
 - 特別支援教室を全市立中学校に設置
 - 第三次稲城市子ども読書活動推進計画の策定（現行計画は平成 27～31 年度、今年度に次期 32～36 年度計画を策定）
 - 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会気運醸成事業
 - スクールソーシャルワーカーの拡充
 - 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金の見直し・私立幼稚園入園に係る経費の補助金新設（10 月からの無償化に伴い、市独自の負担軽減補助を 9 月までとし、あらたに入園経費を市独自に補助）



被災地支援関係

東日本大震災～福島県相馬市への長期職員派遣を完了

（平成 23 年 6 月締結「災害時等相互応援協定」に基づく派遣）
平成 24 年 4 月からの職員派遣は一定の成果を上げ、おかげさまで相馬市の復興は被災三県の中でも群を抜いています。このたび相馬市からのお申出により、平成 31 年 3 月 31 日をもって派遣を完了しました。今後は平成 27 年 8 月に締結した「友好都市協定」に基づき、両市民の交流が子どもからお年寄りまでへと発展することを期待しています。



南相馬市長（左）、相馬市長（右）と

平成 30 年西日本豪雨災害

～愛媛県西予市への職員派遣を実施

（全国市長会からの要請に基づく派遣）
平成 30 年西日本豪雨災害の被災地の一つである西予市に、平成 30 年 12 月 1 日から本年 3 月 31 日まで市職員を派遣しました。私は、本年 2 月 28 日から 3 月 1 日にかけて西予市を訪問し、派遣職員の激励を兼ねて被災地を視察してきました。河川の氾濫による大規模な水害の脅威を目の当たりにし、日頃からの防災減災対策の重要性を改めて確認しました。なお、派遣職員の提案により、桜・梨の花まつりの会場やペアテラスにおいて、西予市の特産品であるみかんジュースなどを販売し、西予市の地域産業の復興もお手伝いしています。



西予市役所で西予市長（左）、派遣職員（中）と

3 だれもが心豊かに暮らせる平和で安全なまちづくり

- ⑥ 高規格救急自動車・高度救命処置用資機材の更新（平成 21 年度導入車両の更新整備）
- ⑦ 消防本部指揮車の更新（平成 10 年度導入車両の更新整備）
 - 自治会防犯カメラ設置費補助（自治会が自主的に設置する防犯カメラの設置費用一部補助）
 - Net119 緊急通報システム整備（聴覚や言語に障害のある方がスマートフォンやタブレットから 119 番通報し、消防署指令室で受信できるシステムを導入）
 - 気管挿管用ビデオ付喉頭鏡の導入（モニター画面から人工呼吸用チューブを安全確実に気管挿入できる資機材を 3 カ年で全救急自動車に整備）
 - いなぎ防災マップの更新（前回は平成 26 年度に作成し全戸配布した。多摩川洪水浸水想定区域の変更や土砂災害警戒区域の指定など最新状況を踏まえ、観光ガイドマップと分離して掲載情報を増やし冊子型マップとして作成し全戸配布する）



4 環境にやさしく活力あふれるまちづくり

- ⑧ プレミアム付商品券事業（令和元年 10 月からの消費税率引上げによる影響を緩和、住民税非課税の低所得者・0～2 歳児の子育て世帯に商品券を販売）
- ⑨ 街路灯の LED 化事業（防犯灯はすべて LED に交換済、街路灯（水銀灯・蛍光灯・ナトリウム灯など）3,494 基を LED に交換）
 - 稲城市商業活性化プランの策定支援（稲城市商工会の計画策定について経費の一部補助、中小企業診断士によるコンサルティング支援）
 - 創業塾の実施〔多摩市との共催事業（年間 3 回）のうち 1 回を稲城市内で開催、1 開催につき全 6 回の講義を実施〕



5 水と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくり

- ⑩ 多 7・5・3 号線（矢野口・鶴川街道～川崎街道）新設整備事業（本年度は用地説明会・物件補償調査等）
- ⑪ 多 3・4・12 号線（都道読売ランド線）の受託事業（本年度は用地買収・物件補償・道路電線共同溝詳細設計）
 - 多 7・4・5 号線（第 3 中学校東側～京王相模原線）整備事業（本年度に暫定開通を目指す）
 - 市道 171 号線等整備事業（よみうりランド駅北口整備、本年度は道路詳細設計・用地追加買収）
 - 多 3・4・36 号線トンネル整備工事（上平尾～小田良土地区画整理事業地区、平成 29～31 年度工事施行）
 - 住所整理事業〔小田良土地区画整理事業（令和 3 年 3 月に換地処分予定）に合わせ坂浜地区全体の町区域設定を検討〕
 - ドッグラン整備事業（試行事業の結果を踏まえ、通年利用できる区画を整備）
 - 小規模コミュニティ交通の実証実験（市内の交通不便地域において①タクシー車両による乗合事業、②福祉法人の地域貢献事業の実証実験を実施）
 - 管堀維持補修工事（本年度は対象区間の 1/3 について工事、令和 4 年度までに完了予定）



6 市民とともに歩むまちづくり

- ⑫ 庁用自動車の更新（更新対象の自動車について環境性能に配慮した電気自動車、PHV 車を導入）
 - 法定外公共物等の市有地の整理事業（集中的に売払い等の整理を進め、税外収入を確保）
 - 庁舎空調設備改修工事（設置から 37 年が経過、老朽化対策と同時に省エネ・CO₂削減を推進）
 - （仮称）第五次稲城市長期総合計画策定（現行計画は平成 23～32 年度、平成 30～令和 2 年度の 3 カ年で次期令和 3～12 年度計画を策定）
 - 市議会だよりの充実（全ページをフルカラーに刷新）

